

ふちゅうこくさいこうりゅう
府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ がいこくじん なかよ たす あ
楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ けています。

くろするろ〜ど

会報誌

2016/6月号

げっかん がつ 〜サロン月間カレンダー6月〜

- サロンでお茶会
6月3日(金) 午前10時30分〜12時
絵手紙教室 (費用100〜200円)
- 6月10日(金) 午前10時30分〜12時
生け花教室 (費用500円) 要予約
- 6月17日(金) 午前10時30分〜12時
着付け教室 (費用100円)
- 6月24日(金) 午前10時30分〜12時
ダンス教室 無料

- ★対象はサロン学習者またはボランティアの方。
- ★申込みはサロン事務局まで。

- ボランティア勉強会
—学習者のホントの気持ち パート2—
各学習会から学習者の方々も参加します。是非、
学習者の生の声に耳を傾けてみてください。
日時：6月15日(水) 午前10時〜12時
場所：サロン3階第1会議室

- サロン・外大連携プロジェクト 交流会
日時：6月17日(金) 午後12時10分〜14時10分
場所：東京外国語大学

- 国際交流サロン講演会 北村祐人氏(文化庁)
日時：6月18日(土) 午後13時〜15時
場所：サロン3階第2会議室



にほんごきょうじゅほうけんしゅう しよきゅう はじ 「日本語教授法研修・初級 I」始まる

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ
研修部会 萱生由美子

今年度も柏崎雅世先生を講師にお迎えして5月19日から日本語ボランティア養成講座が始まりました。受講者は51名(一般公募41、現ボランティア10)です。

今回は公募前から事務局への問い合わせも多く、昨年より人数が増えることが予想されていましたが、実際に予想を越えた数となりました。日本語ボランティアへの市民の関心が高まってきているのだとしたら嬉しいことです。また、男性の受講者(公募12名)が多いのも今回の特徴です。

毎年研修終了後にアンケート調査をしています。そこにはいつも、内容の割に研修の時間数が少ないとの意見が寄せられていました。それになんとか対応したいと、今年度は市や先生と相談の上、初級 I が全10回、初級 II が全8回と、計4回(8時間)を増やすことにいたしました。

柏崎先生のスケジュール表では、講義の他に5分のモデル授業(5回)やグループワークでの練習(7回)が組み込まれていて、非常に実践的な内容になっています。また、増えた時間枠は、初級 I の山場である『て形』と、『助詞』のまとめに使われることになりました。

研修初日の19日は、最初は静かでしたが、途中からは質問も増え、終了後も熱心に質問をする方達の姿も見られました。活気のある研修になりそうです。

世界の文化

「ベトナムの干支(えと)はとても大切」

グエン・ドゥック・ヒエン (ベトナム)

日本では、年ごとに干支が決まっていますね。
例えば今年(2016年)は「サル年」ですね。

ベトナムでも日本と同じように干支があり、日本以上に大切にされています。

1. 干支の順番

日本とベトナムの干支の動物はだいたい同じですが、三つだけ違います。

日本：ネズミ年、ウシ年、トラ年、ウサギ年、
タツ年、ヘビ年、ウマ年、ヒツジ年、サル年、トリ年、イヌ年、イノシシ年。

ベトナム：ウサギ年は→ネコ年に。

ヒツジ年は→ヤギ年に。

イノシシ年は→ブタ年です。

2. 干支の相性

ベトナムでは「仲の良い干支」と「仲の悪い干支」があります。例えば結婚とか、ビジネスを一緒にやるとかの場合、自分の干支と相手の人の干支との相性が良いかどうかはとても大切です。

A <相性の良い干支>のグループ

ア：ブタ年、ネコ年、ヤギ年

イ：ヘビ年、トリ年、ウシ年

ウ：トラ年、ウマ年、イヌ年

エ：サル年、ネズミ年、タツ年

B <相性の悪い干支>のグループ

ア：トラ年、サル年、ヘビ年、ブタ年

イ：タツ年、イヌ年、ウシ年、ヤギ年

ウ：ネズミ年、ウマ年、ネコ年、トリ年

もし好きな女性がいても、相性の悪い干支同士の場合、親が反対して結婚させてもらえないこともあります。本当ですよ。

ちなみに私の干支はネコ年。妻の干支はブタ年。私と妻の干支の相性はとても良いです。だから私と妻は幸せです。

3. 「五行」も大切

ベトナムでは干支のほかに「五行」も大切です。五行とは、生活に必要な金、木、水、火、土の5つの要素です。年ごとにどの要素かが決まっています。例えば今年(2016年)は火の年です。だから今年(2016年)は「火のサル年」です。結婚やビジネスの相手選びには、この「五行」も大切な条件です。

他にも、その人の生まれた時間によって相性の良い、悪いがあり、ベトナムで結婚相手やビジネスの相手を見つけるのはとても大変です。

例えば政治の世界で総理大臣が他の大臣にだれを選ぶかを決める時、「干支」や「五行」や「生まれた時間」などを慎重に検討して決める…と言われています。総理は決して口には出しませんが。

あなたと奥さん(ご主人)の干支の相性はいかがですか？



私のお国自慢 ~12~

古代ペルシャ「イラン」

ホシバンド アスマ (イラン)

イランは中東にある国で、古代ペルシャの国としても有名です。カスピ海沿岸とクゼスタン地方と砂漠を除いてはイラン高原になります。世界で最も山の多い国のひとつです。西側にはコーカサス山脈があり、とても有名です。北部のカスピ海を望むアルブルグ山脈には、イランで最も高い山、標高5,610メートルのダマーヴァンド山があります。



ダマーヴァンド山

メソポタミアを支配した中世の王朝ササン朝の時代の世界遺産ペルセポリス遺跡はとて有名です。



ペルセポリス遺跡



国立カセミ大浴場

イランは建築様式に数学や幾何学、天文学を取り入れた最初の国々のなかの一つです。16世紀に建てられた国立カセミ大浴場などは、天井に光の入る穴があげられています。ヤズドのバザールの教会、モスクの天井もこのような建築様式からなり、たくさんの宗教行事がおこなわれています。

イランの食事はハーブを使う料理が多く、プラムやザクロ、アプリコット、レーズンなどと一緒に調理されます。ランチとディナーには、健康のためにプレーンヨーグルトをよく食べます。

カレンダーは、太陽暦が主に使われていますが、他にもグレゴリア暦と陰陽暦があります。

毎年3月21日には「ノウルーズ」という国民的な行事があります。新しい年の始まりで、日本のお正月と同じです。「ノウルーズ」は、ユネスコの無形文化遺産に指定されています。

みなさんがイランに興味をもってくれたら大変うれしいです。

ベトナムでの結婚式に出席して

金曜夜ボランティア 仙波 昂

ベトナムに帰任したホックさんの結婚式に参加するためベトナム初訪問となった。ホックさんはベトナム東芝の社員で、東芝府中に派遣されていた約1年間の間サロンの金曜夜のクラスで学習をしていた。和田さんが教えていて私も何回か一緒に勉強をした。アフターナインでも親交を深めた。そんな関係で今回ご招待を受けた。私が経験したベトナムの結婚式を報告する。結論を先に述べると、文化や方式は変われども、若いカップルを祝福し、併せて参加者も楽しむ通過儀礼ということにはどこでも変わりはない。誤認、誤解があるかもしれないがご容赦いただきたい。

♥ ベトナム ヴィン市まで

今回のベトナム行は私のスケジュールの事情で強行軍となった。4月30日午後4時半頃羽田を出発、約6時間のフライトでハノイに着いたのは現地時間午後8時半頃（時差は2時間）。ホックさんの上司の日本人の方が出迎えてくれた。そのまま市内のホテルで先発の和田さんと合流し、ハノイ駅発夜11時頃の夜行列車でベトナム北部の都市ヴィン市に着いたのは翌朝6時半頃だった。結婚式はヴィンの郊外ドゥックトハティンという町のホテルで執り行われた。この町がホックさんの郷土である。和田さんと私、それにベトナム東芝の社員の方々30人近くが式場となるホテルに宿泊した。

♥ 前夜のパーティ（5月1日）

前夜のお祝いパーティがホックさんの自宅で開催された。家族、親類を挙げて近隣の客や我々出席者をもてなしてくれた。客が入れ替わり立ち替わり来訪し常時数十人が着座している。前庭に飾り付けをし、テントを張りテーブルを設置、盛りだくさんの地元料理とサイゴンビールと40度位の強い地酒（俗称ハノイウォッカ）が用意される。食事が一通り終わったころ演奏とカラオケが始まる。大音量の

スピーカーから出る音のすさまじさ。我々の中座したが深夜まで続いたのだろう。

♥ 披露宴会場 (5月2日)

朝10時半頃別棟のホテル大宴会場へ行く。その入口でホックさんと新婦のチャウさんが出席者を出迎えている。入口外側にはハート形をしたご祝儀箱がある。ご祝儀は airmail の封筒に入れるものようで、それをその箱に入れる。受付をする人はいないし、記帳もない。面白いのはご祝儀入れの脇に airmail の封筒が用意してあって、出席者はその場で封筒にご祝儀を整えることができる。

また招待状がない人でもご祝儀を入れれば出席可能な仕組みなのである。

宴会場は10人掛け位の円卓が所狭しと置かれている。その数100卓くらいだろうか。テーブルには盛りだくさんのベトナム料理が並べられていて、中心に尾頭付きの鯉の料理が置かれている。座席は指定されてなく席次もはっきりしない。ただグループごとと一緒に座るように案内がなされる。舞台に一番近い最前列の卓は新郎新婦の家族、親類が占める。これは日本とは反対である。ただこれには理由がある。披露宴の出席者はいつ退席してもよいので出口に近い方の卓を占めるのであろう。

♥ 披露宴の進行

ざっと出席者が集まった所で披露宴が始まる。親族と思われる方が司会となり、新郎新婦と両家両親が舞台上に登壇する。次いで日本の場合には結婚式で行われるべき指輪の交換が行われる。指輪の交換に立ち会うのは司会者位で僧侶とか神父はいない。印象深いのは披露宴に必要なルーティンである挨拶、指輪の交換、シャンパンシャワー、ケーキカットが手際よく短時間に行われることである。来賓の挨拶やスピーチ、乾杯の音頭、新郎新婦や家族の紹介もない。考えるに1000人からの出席者を退屈させないような配慮なのだろうか。出席者はルーティンの間も食べかつ飲み、同じ卓の人と会話を交わすのである。とても楽しく披露宴は進行する。そうこうする内に新郎新婦が連れ立って各テーブルに挨拶に回る。この時にはテーブルの全員が立ち上がってここぞとばかり新郎新婦と大声を上げながら

乾杯と相成る。100卓全部で乾杯をしたら新郎新婦はどうなるかと心配になる。ハノイウオッカでの乾杯もあるらしいのでまさに大変な難行である。楽しくも手荒な通過儀礼である。

その内に舞台では演奏が入りカラオケ大会のようになる。親族の方から歌い始めるようである。ご馳走を頂き、歓談をされていてふっと気が付くと入口に近い客が退席を始めている。流れ解散が披露宴の慣習らしい。ありていに言えば新郎新婦と乾杯を済ませ、料理を食べ終わり一通り飲んだらいつ帰っても良いのであろう。我々も程よいこ退散した。



右から仙波、ホックさん、チャウさん、和田、長谷川(上司)

当日 (5月2日) 夕方

東芝の社員の方々とチャーターバスでもう一度ホックさんの実家に伺う。ご実家でもう一度おもてなしを受けることになった。既に先客があつてホック家の前庭は賑わっていた。地元のベトナム料理、サイゴンビール、ハノイウオッカでの歓待であった。新婦のチャウさんがホックさんと結婚後の初仕事なのだろうか甲斐甲斐しく来客のもてなしをこなしていた。

ベトナムの人たちの心づくしのおもてなしに本当に感謝をしたい。料理もお酒も美味しくベトナムに来て本当に良かった、また訪れたい。

ホックさんチャウさん本当におめでとう、末永くお幸せに。



勉強会報告

皆さんよろしく◇学習者紹介

「わたしたちはこんなことをしています。」

—日本語学習5部会のいま—

研修部会 おおしまようこ
大島洋子

5月18日は19名の参加で、日本語学習5部会それぞれの特徴やクラスの現状について話し合いました。学習会の時間帯により、参加者に特徴があり、それがクラスの特性にもなっていることがわかりました。

月曜午前のクラスは、子供が幼稚園や学校に行っている間に参加しようという学習者やボランティアが多いとのことで、子育てが共通の話題となることもあり、ニーズに合わせて「学校だより」など生活に即したのも、欠かせない教科書になっているそうです。

金曜夜のクラスは、学校や仕事を終え夕食もそこに駆けつけてくる参加者が多く、飲食をしながらの学習風景も、「使える日本語」を学ぶ若い学習者たちのにぎやかな笑い声があふれ、お茶タイムには各国のお土産が回って来たり、勉強以外の要素がいっぱいとのこと。午後クラスとは違った雰囲気があるようです。

学習者とボランティアの人数バランスは均等、もしくはボランティアが余る現状です。学習効果を高めるために2対2の学習形式を試みたり、他のボランティアの学習活動に参加したり、クラスごとにいろいろな工夫がなされています。学習者の定着化をはかるためマッチングに配慮をしたり、お楽しみ会やかるた会をはじめ、様々なイベントや防災訓練の実施など、いろいろな取り組みをしているクラスもあります。

各クラス共通の課題、問題点はマッチングの難しさや苦勞。組み合わせ交代の時期やその是非についても意見が交わされました。

他のクラスと連携しあいながら、それぞれのクラスの独自性を生かした取り組みをしていくことが、学習者に多彩な学習の場を提供することにつながります。(詳細は記録をご覧ください)

ルオン スアン ニア さん(ベトナム)



「日本で仕事をしたいです」

昨年6月ベトナムのハノイから日本に来て、国際交流サロンに来たのは9月のはじめでした。

大学は経済学部を卒業しましたが、日本で仕事をしたいと、まずは日本語の勉強をするべく午前中は日本語学校に週5日行き、午後は週3日国際交流サロンで勉強しています。ですから、まだ来日して1年も経っていないのに、とても上手に会話ができます。

趣味は旅行ですが、45歳位までは働いてお金を貯め、それから旅行をしたいと思っています。ですから、結婚は早く、子供も早く生まれれば、家族一緒に旅行が出来るという夢を持っています。また、旅行だけでなく、ベトナムに住んでも、日本に住んでも、家族と一緒に時間を大切にしたいと考えている家庭的な男性です。

日本語が出来るようになり、就職が決まるまでは、生活費も稼がなければならないので、コンビニでアルバイトをしています。東京は物価も高く住居費、食費、光熱費を得るのは大変だとおっしゃっています。

好きな日本の食べ物は、お寿司、てんぷら、おさしみです。また好きな日本語は「なるほど」「たしかに」「ありがとう」です。

就職するのに必要な日本語を1日でも早くマスターして、夢をかなえられますように・・・(堤林)

新ボラさん こんにちわ!

「嬉しい出会い」

月曜午前ボランティア 鈴木千代子

毎日仕事と家事に追われていた私には、ボランティアで頑張っている人達が、とても眩しく見えました。仕事をやめて半年ほど経った頃、府中市の広報で国際交流サロンのボランティアのことを知りました。自分あまり自信は有りませんでした、国際交流という言葉が気になりました。このような場所で自分が何かの役に立てるのならと思い、勇気を出して申し込みました。念願のボランティアへ第一歩です。

普段何気なく使っている日本語ですが、勉強してみると、なんとこんなにも複雑だったとは。不安を抱えながらのスタートでしたが、何とか半年が過ぎました。学習者の立場に立って考えるように努力しているのですが、言葉の壁はなかなか手ごわいですが、でも、心の壁はそうではありません。どこの国の人たちも同じ人間同士、気持ちが通じます。毎回充実した楽しい時間になりました。そして私にとっても、学びの場所になったのです。

年を重ねてくると、若い人たちとの触れ合いも少なくなります。でも授業が終わると、「有難うございました」「楽しかったです」。私よりはるかに若い人たちが、ステキな笑顔で言ってくれます。

どう致しまして、私の方こそ、ありがとう。

「試行錯誤の日々です。」

月曜午後ボランティア 佐藤英子

活動を始めて、あっという間に10か月が経った気がします。この間、6名の学習者さんとお付き合いさせていただきました。

当日に急に受け持つことになる学習者さんの場合、「もし自分のやり方次第で、次回から来なくなったら」と考えると「一期一会」の重みを実感させら

れます。そして、翌週元気に挨拶され、またその日も一緒に学習するものと思われていたりすると、嬉しいのと申し訳ないのとで、身体が二つ欲しいと思ったりもしました。

今は主に、来日10年近い韓国人女性の、ベテラン学習者さんと講読を中心に学習しています。

外国語を学んでいて、こんな経験ありませんか？ 天気や趣味、食べ物、家族などの身の回りのことは割と話せるのに、社会問題、文化、政治などになると言葉が思うように出でこず、ガックリ来てしまうという…。これは、ある言語を長く学んでいるわりには、なかなか上達しない私自身の体験でもあるのですが、最大の壁、原因は「圧倒的な語彙力不足」。語彙を増やすには、その言語で書かれたものをたくさん読むことだと、その語学の先生に言われています。そうすると語彙や語の仕組みに対して勘が働くようになるとも…。

学習者さんの更なる向上を目指し、「読む」ことの効用を信じて、漱石の「三四郎」を読み始めましたが、果たしてテキストとして適切なのか等々、試行錯誤の日々です。皆さまのアドバイスを頂けたらと思っています。

日本語おちぼひろい ~36~

「ハノイで拾ったお弁当」

金曜夜ボランティア 和田泰弘

この5月、16年ぶりにハノイを訪れました。ハノイの東芝に勤め、一昨年9月に府中の東芝へ研修で派遣され約1年間滞日し、その間サロンで日本語と一緒に勉強したチャン・タイ・ホックくんの結婚式に招かれてのことでした。ハノイから南へ300キロ離れたハティンという彼の故郷で行われた結婚式には、上司の長谷川聖さんをはじめ、職場の30名近いベトナム人の同僚の方々も参加されました。ホックくんと一緒に来日し、同じくサロンで学習したチャンくんの、思わぬ懐かしい顔にも出くわしました。日本の企業ということもあり、東芝に働く若いベト

ナムの方々には日本語学習に熱心な人が多く、長谷川さんにお聞きしたところ、終業後、ベトナム人の日本語の先生を招いて教室を開いたり、長谷川さん自ら部下に教えたりと、積極的に日本語学習に取り組んでいるとのこと。もっとも、日本語を教え始めて、動詞をⅠ・Ⅱ・Ⅲグループに区分けするのを初めて知り、五段、一段、変格活用で動詞の文法を習った身として戸惑ったということも洩らしていました。

結婚式を終え、ハノイに戻った日、ホックくんのチームで働くアインさんという若い女性から、「7月に日本語能力試験のN4を受けるので、日本語をたくさん勉強したいです。ハノイを案内するの、日本語を教えてください」という熱心な申し出があり、今回一緒に結婚式に参加した仙波さん(金曜夜ボランティア)と、一日だけの俄か「サロン日本語教室」を開くことに相成りました。

ハノイのシンボル、ホアンキエム湖のほとりから路地を少し入ったところにあるオープンテラスのレストランで昼食をとり、トム・ハップ、ムック・サオ、ネム・ザンなどに舌鼓をうちながら、「空が明るいです。」「空が明るくないです。」と、形容詞の「ない形」を教えていたら、「さっきは明るかったです。」「今は、暗いです。」と、「ない形」を使わず、自然な表現が飛び出してきました。(うむっ、結構いけるではないか!) 次のやりとりは「朝ごはんは何を食べますか?」「パンと卵を食べます。」。続いて、「お昼は何を食べますか?」。暫し間が空き、返ってきたのは、「準備食べもの。」「!?!」…意味を理解できず、「準備食べものは何ですか?」と聞き返すと、「朝、食べものを家で作ります。会社で食べます。」一あっ、そうか! お弁当のことか、と思ひあたり、「お弁当?」と差し向けると、「お弁当! お弁当!」と嬉しそうに何度もうなずきました。

アインさんの「準備食べもの」から、英会話を習っている頃、「飛行機雲」という単語がわからず、“What do you call the line a jet plane draws in the sky?”と、意味を説明し、“contrail”という単語を教えてもらったことを思い出しました。適当な語彙が浮かばないときは、意味を説明するといいのですね。「弁当」ということば、そもそも「弁(そな)えて用(もち)に当てる」という意味があり、アインさんが説明し

た「あらかじめ準備しておく食べもの」は、正鵠を射ていたというわけです。

ハノイで拾ったお弁当の話—アインさんの毎日のお弁当は、どんなふう準備された食べものなのでしょう。いちどご賞味に預かりたいものです。そして、N4の試験、頑張っね! いつか、府中のサロンで一緒に勉強できる日を楽しみにしています。

私の☆つぶやき

～サロン・ツイッター・コーナー～

「中国語って面白い!」

武久堅著「間違いだらけの日本語」に載っていたちよつと笑えるお話。

① 日本では「奥さん」といえば「妻」の尊称(尊敬して呼ぶ言い方)。

それを中国では「太太」と言うそうです。そして自分の妻のことは「老婆」と言うんだそうです。

「太」、「老」、「婆」は日本で女性に言ったら張り倒されそう…

② 日本では「愛人」といえば「内緒の恋人」。

でも中国の「愛人」は配偶者のこと。

夫、妻にあたる人はすべて「愛人」。

ホンマかいな…?

ちなみに我が家のカミサンは体重〇〇キロで「超太太」だあ… (シーラカンス)

えてがみ
絵手紙



チョウ・リリ (中国)

みんなの広場

「私はトビウオ！いいトドでした・・・」

生涯学習センターにあるプールを紹介し
ます。府中駅からちゅうバスに
乗ります。100円です。

学習センターの奥のほうにプールはあり
ます。エレベーターの前の入り口を入
り400円でチケットを
買います。2時間泳ぐことができます。

2階に上がると入口でカードを入
れ更衣室に行きます。そこで100
円のコインを入れロッカーを使
います。必ず水着に着替え帽子
をかぶってください。

私はアクアビクスのクラスに行
きます。1時間半、先生の真似
をして音楽を聞き颯爽と飛び
上がったり、踊ったりクタクタ
になって動き回ります。

やっている私はトビウオのよう
に跳ねたり跳んだりしている
かと思っていたのですが、ある
とき3階の見学室からみなさん
を見たら……。ざんねーんお
ばさんチームは「トドでした」。

寒い冬の間もあたたかくて気
持ちよく泳げます。そしてこ
れはいい話・・・ランチタイ
ムが一番すいているのです。
ちょっと食事の時間をずら
して行ってみませんか。とっ
てもいい運動になります。

勿論歩くコース、ゆっくり泳
ぐコース、そしてドルフィン
のようにすいすい泳ぐコース
があります。だからトドだっ
て泳げます。(トドおばさん)

「日本語学習発表会の冊子が完成！」

去る3月12日に行われた日本語
学習発表会には、金曜夕方の
児童支援学習会で学ぶ児童
を含め、6カ国15名の学習
者が参加し、歌、踊り、ユー
モアなどを交えて、それぞれ
個性を發揮しながら日頃の
日本語学習成果を発表しま
した。この発表会の成果を
記録に残すために、昨年か
ら冊子にして発行を始めま
したが、今年も、すべての
スピーチを収めたA4サイズ
16ページの冊子が、特別編
集チームの労により発行の
運びとなりました。

冊子を手に取り、一生懸命に
準備し、緊張する中で拍手
と笑いを誘った15名の熱演
スピーチを、是非こんどは
文字で味わってみてくだ
さい。冊子は、サロン事務
局と日本語学習会で配布
しています。ご希望の方は
お申し出ください。(編集
部)



～編集後記～

3月下旬、台湾旅行に出かけ
ました。台中から入り、台
南、台北と観光を楽しみま
したが、どこも独特の趣に
あふれていて、長い歴史に
触れ、雄大な景色を楽し
みました。特に、最後の日
に訪れた九份のレトロな
街並みは強く印象に残り
ました。あの『千と千尋
の神隠し』のモデルにな
ったと言われているあか
ちようちん(赤提灯)の風
景はすばらしく、当日は
雨が降っていたこともあり
、そのノスタルジックな
雰囲気に感動しました。

そうそう、忘れていま
した。小籠包！『鼎泰豊
(デインタイフォン)』と
いう有名店で食べましたが
、美味しかった！聞く
ところによると、日本
にも出店してたいへん
人気だそうです。

長い歴史と雄大な自然、
そして美味しい食事に
大満足な4日間でした。
(安島)

【編集】会報部会/ 安島、坂倉、篠塚、進藤、
高柳、堤林、増田、和田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail : salon@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

